

2022年度1F2F緊急時演習5週間前(再)面談ご説明用資料

9月5日に実施させて頂いた面談結果に基づき資料を修正・追加しました。
※主な修正箇所は下記のとおりで、赤字で記載しています。

| | 該当箇所 | 修正内容 |
|----|--|---|
| 0 | 本資料次ページ | 以前のERC広報と東電広報リエゾンの実施事項等が分かる説明資料の追加 |
| 1 | 訓練計画に係る面談資料 指標3-4 ERC備付資料の活用 | との調整状況を追記 |
| 2 | 訓練計画に係る面談資料 指標4 ③十条確認会議等の対応 | 退任予定につき、 を1F側副本部長として記載。 |
| 3 | 訓練計画に係る面談資料 指標6 シナリオ多様化に関し、付与する場面設定 | 指標7と混在していた記載の適正化 |
| 4 | 訓練計画に係る面談資料 指標7 現場実動訓練の実地内容 | 訓練概要と実施時期が分かる記載に変更 |
| 5 | 訓練計画に係る面談資料 備考 訓練参加率 リエゾン予定人数 | 広報リエゾンの人数変更(4名⇒3名)に伴い、リエゾンの全体数変更(9名⇒8名) |
| 6 | 訓練計画に係る面談資料 事業者とERCの訓練コントローラ間の調整事項 | 最新の調整状況を反映 |
| 7 | 別紙1-1 2022年度福島第一緊急時演習実施計画書 | 別添1で詳細について説明する記載を追記 |
| 8 | 別紙1-2 2022年度福島第一緊急時演習実施計画書 | 別添1で詳細について説明する記載を追記 |
| 9 | 別添1 訓練のねらいフローチャート | 検証項目となっている事項について、フローチャートで訓練のねらいを図示した資料を追加 |
| 10 | 別紙10 中長期計画 2F資料 | 記載の適正化 |

ERC 広報と東電広報リエゾンの連携訓練について

1 東電広報リエゾン活動内容

広報リエゾンは、AL 以降にプラント状況を踏まえ、会見の可能性が出てきた場合、広報班長判断により規制庁に向かい、下記①～④の業務を行う。

- ①ERC 広報に、必要に応じて印刷資料を用いて説明する。
 - ・ 通報プレス
 - ・ 通報文の一斉メール
 - ・ 会見配布プレス
- ②ERC 広報に、必要に応じて口頭にて報告する。
 - ・ HP 掲載時間・概要
 - ・ SNS 投稿時間・概要
- ③ERC 広報から質問を受けた場合、本社と連携を取り回答する。
- ④ERC 広報から「国の動向等」の情報共有を受けた場合、本社に報告する。

2 10月7日訓練で実施したい範囲

上記①～④すべての事項について ERC 広報と連携した訓練を実施させて頂きたい。

3 ERC 広報との連携要領（案）

ERC 広報と広報リエゾン（東電）との連携訓練が約 5 年ぶりであり、基本的な連携要領の確認を主眼として実施させて頂きたい。

したがって、ERC 広報が会見（模擬）の様なことは行わず、ERC 広報担当者のこれまでの知見に基づいた視点から、ERC 広報の活動に必要と考えられる情報を十分に広報リエゾンから提供出来たかという視点で連携させて頂き、十分な情報が得られない場合には、ERC 広報担当者から不足分・疑問点について問い合わせるという形で実施させて頂きたい。